八街市の各区を紹介します（20）【喜望の杜区】

八街市には39の区があり、それぞれの地区で、その地域ならではの歴史や文化があり、そこに暮らす住民同士によるさまざまな自治活動が行われています。
今月は、喜望の杜区を紹介します。

喜望の杜（きぼうのもり）区は、市の北側に位置し、区域は大字「文違（ひじかい）」の一部と「雁丸（がんまる）」の一部にまたがっています。区の成り立ちは、平成10年に分譲地として開発された地域が、文違区から独立したことが始まりです。

区は現在11の班で構成されており、区の加入率はおよそ９割と市内で最も高く、地域ぐるみでさまざまな取り組みを行っています。区の取り組みとして、年に３回、加入世帯に向けて会報紙「ふれあいだより」を発行し、開催した行事の様子など、身近な話題を発信しています。また、今年度は、全国的な新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、活動中の感染対策を図ったうえで、草刈りや側溝清掃、夜間の防犯パトロールを実施してきましたが、例年行っているゴミゼロ運動やラジオ体操、救急救命講習会については、感染防止に配慮してやむなく中止しました。そのような中、餅つき大会については、開催を中止するかわりに、加入世帯へ鏡餅を配ることとしました。このように活動が制限される中でも、地域の皆さまが暮らしやすい環境をみんなで支え合ってつくってまいりたいと思います。

問八街市区長会事務局（市民協働推進課内）☎３１２－１１４０

草刈りの様子

側溝清掃の様子

区（自治会）に加入しましょう ～寄り添い　支え合い～

区（自治会）とは、同じ地域に住む人々が協力し、より良い地域社会をつくるために組織された任意の団体です。八街市には39の区があり、それぞれの地域で住民同士が親睦を深めながら住みやすい地域づくりを行っています。

また、個人（自助）のみでは解決が難しい問題を、地域で支え合って解決するさまざまな取り組み（共助）がなされています。

区（自治会）の主な取り組み

区（自治会）では、次のような住民同士による支え合いの活動や親睦を深める行事が行われています。また、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、緊急事態宣言が発出された際には、重症化しやすく孤立しやすい高齢者世帯に対して、安否確認のために訪問したり、区（自治会）の婦人会が作製した手作りマスクを配布するなど、地域で高齢者を支える取り組みが行われています。

※各取り組みについては、行っていない区（自治会）があります。

区（自治会）に加入し、地域とのつながりを築き、安心・安全な暮らしを地域でつくっていきませんか。加入を希望する方は、お住まいの地域の区（自治会）の役員へご相談ください。

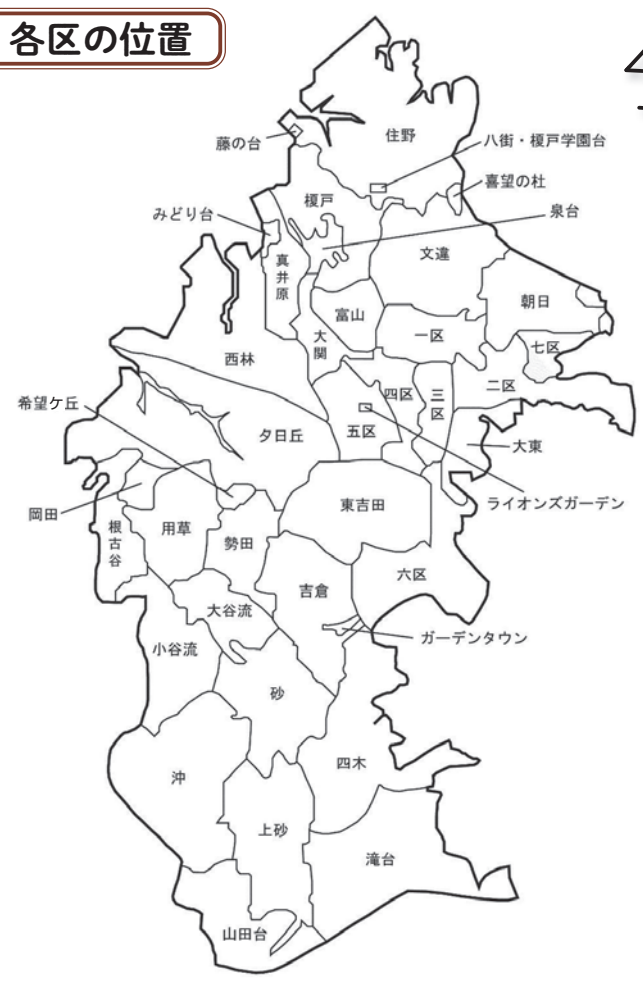
相談先が不明の場合は、市民協働推進課までお問い合わせください。

八街市区長会の活動紹介

八街市区長会は、八街市内に39ある区の区長で構成された組織です。各区の区長は、地域と行政のつなぎ役として、回覧物の配布や地域住民の要望のとりまとめなどを行い、よりよい区の運営に努めています。

また、定期的な区長会議や勉強会により、課題の共有や情報交換を行っています。令和２年11月に「自主防災組織の活動について」をテーマとして勉強会を開催し、各地域での防災活動の事例など、共助の取り組みについて情報を共有しました。

各区の位置



令和2年11月に「自主防災組織の活動について」をテーマとして開催した八街市区長会勉強会の様子

問八街市区長会事務局（市民協働推進課内）
☎３１２－１１４０